

特別栽培で成分カウント・ゼロ

有機農産物にも
使えます。

収穫前日まで使えます。

うどんこ病・灰色かび病（野菜類）・葉かび病（トマト、ミニトマト）に微生物パワー＋銅の効果



いちごうどんこ病



きゅうりうどんこ病



きゅうり灰色かび病



トマトうどんこ病



トマト灰色かび病



トマト葉かび病



トマト疫病



クミカハイブリッド農薬®

グリーンガッツ®

農林水産省登録第22376号

新発売



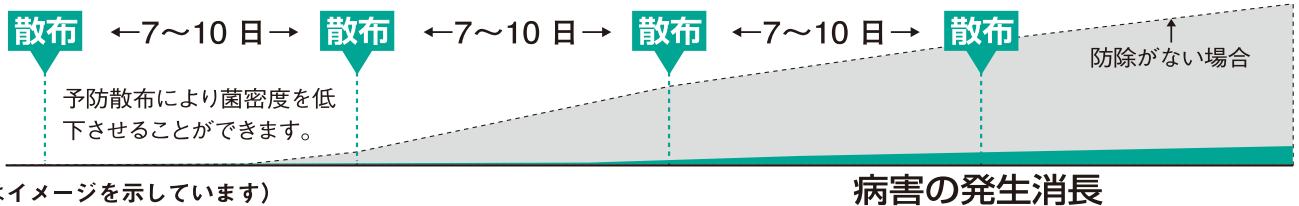
特長

- 生菌と天然の銅が有効成分なので、特別栽培において使用成分回数にカウントされません(実際の使用、生産物表示にあたっては、地方公共団体等の認証機関にお問い合わせください)。
- 有機農産物の日本農林規格(JAS)に適合した薬剤です。
- 収穫前日まで使用できます。
- 野菜類のうどんこ病・灰色かび病に有効です。
- トマト・ミニトマトの葉かび病・疫病等、きゅうりのべと病・褐斑病等にも有効です。
- 果菜類に対する汚れが少なく、取扱いが容易な水和剤です。

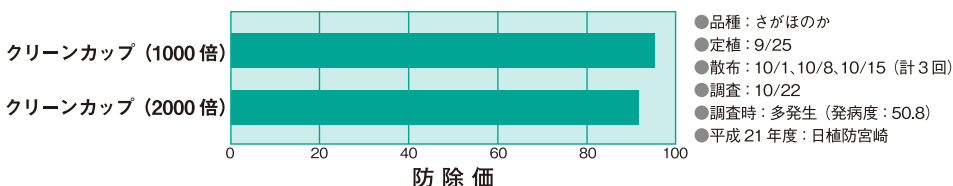
適用病害及び使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	銅を含む農薬の 総使用回数	パチルス スズチリスを 含む農薬の総使用回数
ト マ ト ミニトマト	疫病	1000倍	100~300 ℓ/10a	収穫前日 まで	—	散布	—	—
	すすかび病	1000~2000倍						
きゅうり	べと病	1000倍						
	褐斑病	2000倍						
	斑点細菌病	2000倍						
にんじん	黒葉枯病	1000倍	1000~2000倍	—	—	—	—	
野 菜 類	灰色かび病	1000倍						
	うどんこ病	1000~2000倍						

上手な使い方 予防散布を心がけてください。また、化学農薬との体系防除が有効です。



いちごうどんこ病に対する防除効果



使用上の注意事項

- 有効成分の一つは生菌ですので、散布液調製後はできるだけ速やかに散布してください。
- 開封後は密封して保管し、できるだけ早く使いきってください。
- 他剤との混用は効果が劣る場合があるので、注意してください。
- 予防的効果が主体なので、発病前～発病初期に7日～10日間隔で散布してください。
- 低温条件では有効成分の活動が低下し効果が出にくいので、10℃以上が確保できる条件で使用してください。
- にんにくに使用する場合は薬害を生じることがあるので、炭酸カルシウム水和剤を加用することをお勧めします。
- いんげんまめに使用する場合、幼苗期および高温時の散布は薬害を生じることがあるので避けてください。
- きゅうり、はくさい、キャベツ、だいこんに対しては薬害を生じやすいので、次の事項に十分注意してください。
 - ・幼苗期は特に薬害を生じやすいので、中期以降の散布としてください。
 - ・高温時には症状が激しくなるので散布は避けてください。
 - ・きゅうりの場合は連続散布すると葉の周辺が黄化したり、硬化することがあるので過度の連用は避けてください。
 - ・はくさい、キャベツ、だいこんに使用する場合は、薬害軽減のために炭酸カルシウム水和剤を加用してください。なお、収穫間際には汚れを生じるので、留意してください。
- アスパラガスに使用する場合、薬害を生じることがあるので、必ず炭酸カルシウム水和剤を加用してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にかからないようにしてください。
- 使用にあたっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤をはじめ使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

安全使用上の注意

- 誤飲、誤食などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当てを受けさせてください。使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当てを受けてください。
- 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。
- 散布液調製時および散布の際は、保護メガネ、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。また散布液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがい・洗顔をするともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服などは他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物などとの接触をさけてください。
- 夏期高温時の使用をさけてください。
- 魚毒性など…使用残りの薬液が生じないように調製をおこない、使いきってください。散布器具および容器の洗浄水は、河川などに流さないでください。また、空容器、空袋などは水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 保管…密封し、直射日光を避け、食品と区別して、冷涼・乾燥した場所に保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●防除日誌を記帳しましょう。

本資料は2013年11月現在の知見に基づき作成しています。0889 (13-11)